

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

嶮山小通信

3月号

横浜市立嶮山小学校
TEL:902-7161,7162
FAX: 904-4254
令和5年2月28日

校長 河合 智樹

ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

4・5組 SDGs プロジェクト

主幹教諭 米倉 明日子

4・5組は3年前よりSDGsについての学習をしています。昨年度まではコロナ禍のため、校外での活動はなかなかできなかったものの、本や国連などのHP、校内のゴミ問題などについての学習を進め、SDGsについての知識を身につけてきました。今年度徐々に活動ができるようになってきたため、かねてから希望していた「ユニクロ服のチカラプロジェクト」に参加することができました。ユニクロと国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）が協力して、着なくなった服を難民に届けるというプロジェクトです。2022年は、全国から集まった110万枚の洋服をシリアやアルジェリア、チャド共和国などの難民の方に届けたそうです。嶮山小学校でも皆さまのご協力により、子ども服1580枚を集めることができました。寄付してくださった洋服が、難民の方の大きな助けになっています。

4・5組では、このプロジェクトに参加するにあたって、世界にこの現状を伝えるにはどうしたらよいのかを考えました。そして英語を使ってSDGsとユニクロプロジェクトについて発信することにしました。英語を使えば、世界中の英語を話している20億の人たちにメッセージが届けることができるからです。まず児童は自分の伝えたいことを考え、その言葉を英訳したものを外国人講師に発音してもらい、その動画を見ながら一生懸命練習しました。全校に向けて動画を流した時には、4・5組児童の流ちょうな英語に驚きの声が上がりました。さらに、その英語を使った嶮山小学校の取り組みが、全国745校が参加したユニクロ服のチカラプロジェクトの中で、「ユニクロ服のチカラアワード2022年優秀賞及びUNHCR特別賞」に選ばれました。優秀校は小中高それぞれ3校（合わせて9校）、UNHCR特別賞はそのうち1校のみの受賞です。このようなすばらしい賞をいただけて、4・5組の児童も心から喜んでいるとともに、これからもSDGsの活動を続けていきたいという強い思いを新たにしています。